

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区名	阿倍野区
学校名	大阪市立常盤小学校
学校長名	横田隆文

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成28年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全生徒
- ・大阪市立常盤小学校では、第6学年 181名

平成 28 年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- ・ 平均正答率は、国語 A、国語 B、算数 A、算数 B のいずれも、全国平均・大阪市平均を上回っている。
- ・ 平均正答率は、国語科、算数科ともに「活用に関する問題（B 問題）」の方が、全国平均・大阪市平均を大きく上回る結果となっている。
- ・ 平均無解答率は、国語 A、国語 B、算数 A、算数 B のいずれも、全国平均・大阪市平均より低い値となっている。
- ・ 問題別無解答率は、国語科、算数科とも多くの問題で全国平均より低い値となっている。全国平均を上回る無解答率となっている問題は、算数科よりも国語科の方が多い。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

- ・ 国語 A の問題では、漢字の読み書きやローマ字の読み書きといった言語事項に関する問題はほとんどの問題で正答率が全国平均を上回っている。一方で、情報を活用したり考えを述べるといった問題は全ての問題で正答率が全国平均を下回っている。
- ・ 国語 A の問題別無解答率は全 15 問中 5 問で全国平均よりも低い値であった。
- ・ 国語 B では全 10 問中 8 問で正答率が全国平均を上回る結果となっている。
- ・ 国語 B の問題別無解答率は全 10 問中 8 問で全国平均よりも低い値となっている。

【算数】

- ・ 算数 A では全 16 問中 15 問で正答率が全国平均を上回っている。全国平均を 8.4 ポイント上回る問題もある。
- ・ 算数 A の問題別無解答率は、全 16 問中 14 問で全国平均よりも低い値であった。無解答率が 0 % の問題も 5 問見られた。
- ・ 算数 B では、問題別正答率が全 13 問中 12 問で全国平均を上回った。
- ・ 算数 B の問題別無解答率は 13 問中 12 問で全国平均よりも低い値であった。

質問紙調査より

- ・ 「朝食を毎日食べていますか」の質問に対する肯定的な回答は 95 % 以上となっており、全国平均・大阪市平均を若干上回る結果となっている。
- ・ 就寝時刻は全国平均に比べて遅い。
- ・ 家庭での学習時間は、全国平均・大阪市平均に比べて多い。家庭での学習習慣が身についていると考えられる。
- ・ 「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」の質問に対する肯定的な回答が、全国平均・大阪市平均に比べて少し低い回答結果となっている。
- ・ 「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」の質問に対する肯定的な回答が、全国平均・大阪市平均に比べて高い回答結果となっている。
- ・ 「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対する肯定的な回答が、全国平均・大阪市平均に比べて少し低い回答結果となっている。
- ・ 「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」の質問に対する肯定的な回答は、大阪市平均よりは高い回答であるが、全国平均と比べると同等の回答となっている。「全くしていない」と回答している児童の割合は、全国平均よりも高い値となっている。
- ・ 1 日当たりの読書の時間は、大阪市平均より良い結果が得られており、全国平均と比べても遜色ない結果が得られている。「全くしない」と回答している児童の割合は全国平均よりも高い値となっている。

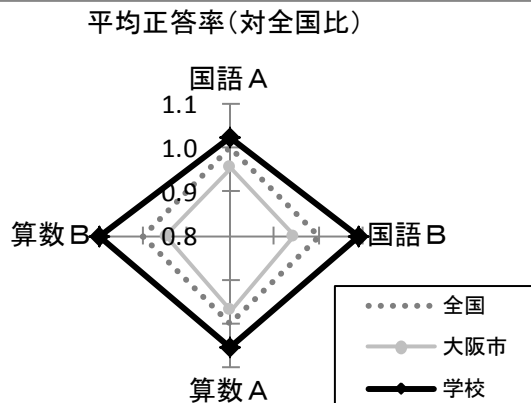
今後の取組

- ・ 主体的・協働的な学びの推進
児童が課題を発見し、解決に向けて主体的・協働的に学ぶ授業づくりを進めます。
- ・ 習熟度別少人数指導
今後も継続して、児童一人一人の学習内容の理解度や技能の習得の程度など、個に応じた習熟度別少人数授業に取り組めます。
- ・ 学校図書館の活用
児童の読書活動を推進するため、使いやすく魅力のある学校図書館作りを進めます。
- ・ 基本的生活習慣の形成
早寝、早起き、朝ごはん等の基本的生活習慣が身につくよう、児童に指導するとともに、保健だより、学年だより、学校ホームページ等を通じて家庭への啓発活動を行っていきます。

【 全体の概要 】

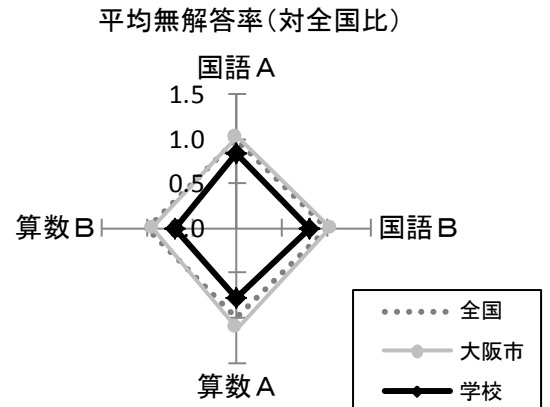
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	74.6	63.2	82.0	51.9
大阪市	69.7	54.6	75.3	44.7
全国	72.9	57.8	77.6	47.2



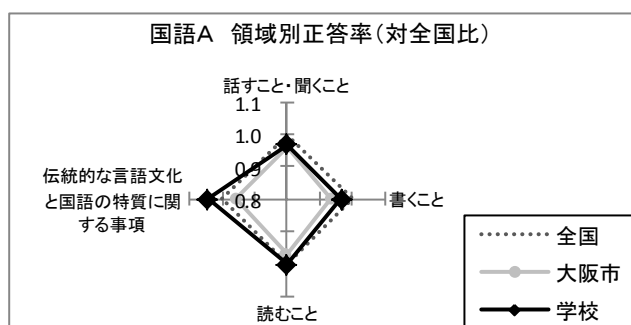
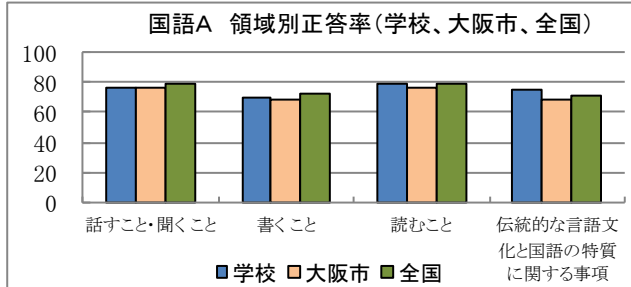
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	4.4	3.7	1.4	5.1
大阪市	5.4	4.8	2.0	7.0
全国	5.3	4.6	1.8	7.4

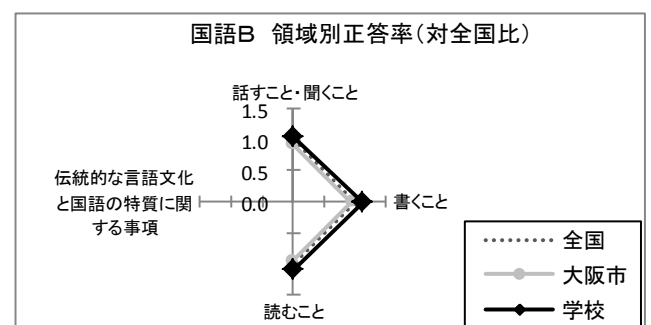
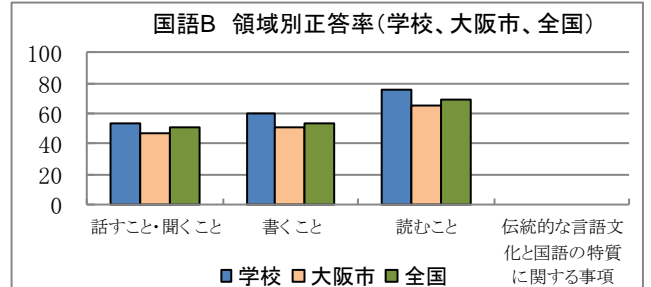


【 国 語 】

A 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	76.7	76.1	79.2
	書くこと	2	70.3	68.1	72.8
	読むこと	2	78.6	76.2	78.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	74.4	68.0	71.1



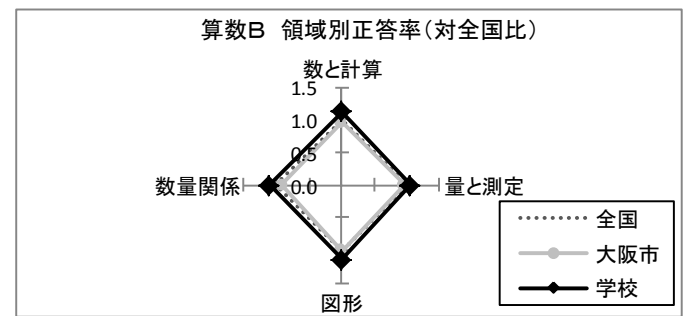
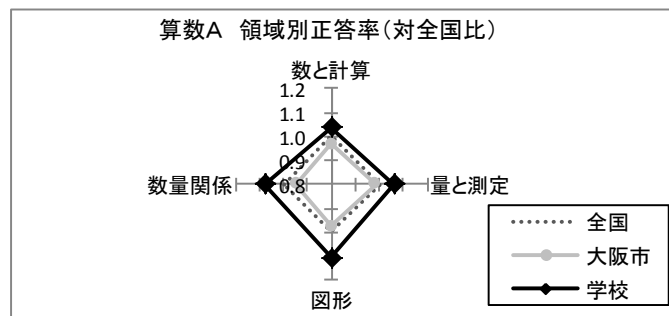
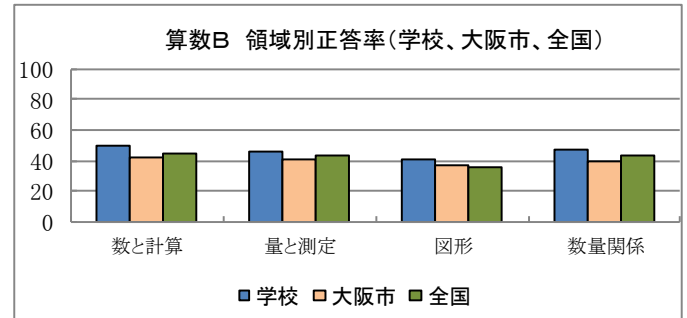
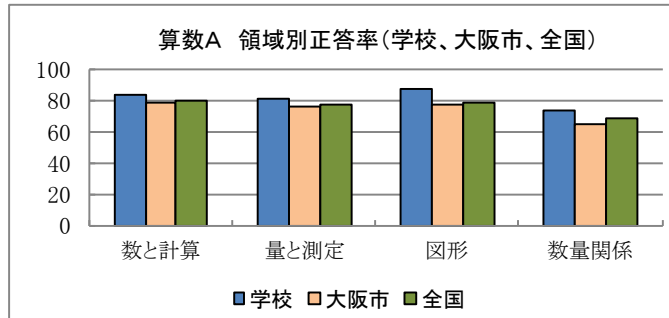
B 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	53.5	47.3	51.1
	書くこと	6	60.0	50.7	53.4
	読むこと	3	75.6	65.6	69.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—



【 算 数 】

A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	10	83.7	78.1	80.5
	量と測定	2	81.7	75.6	77.0
	図形	2	87.2	76.8	78.8
	数量関係	3	73.9	64.8	68.5

B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	6	49.9	42.3	44.4
	量と測定	5	45.7	41.5	43.7
	図形	3	41.1	36.5	36.3
	数量関係	6	47.7	39.2	42.9



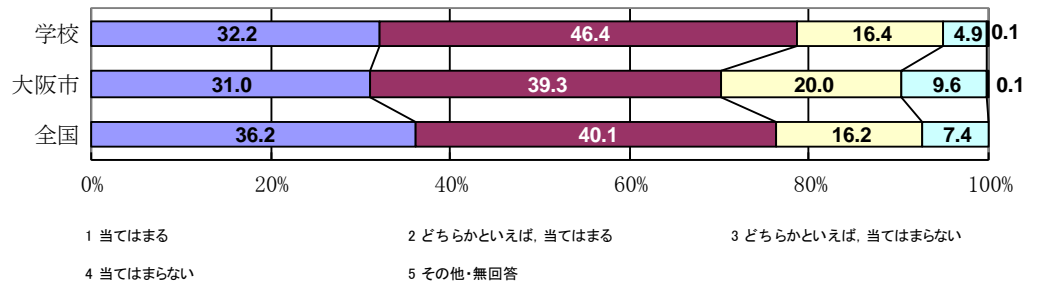
児童質問紙より

質問番号

質問事項

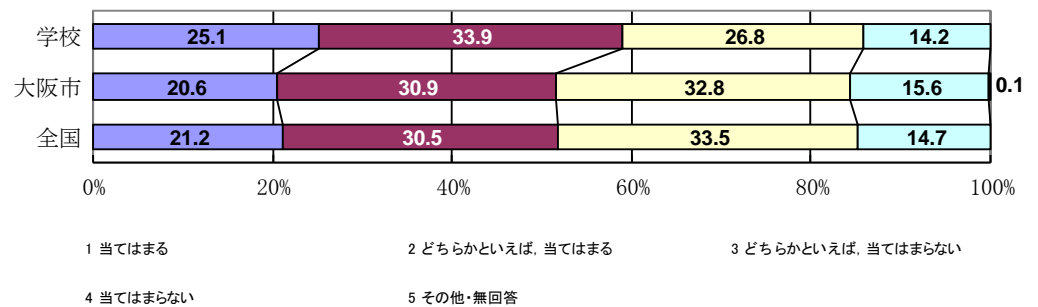
6

自分には、よいところがあると思いますか



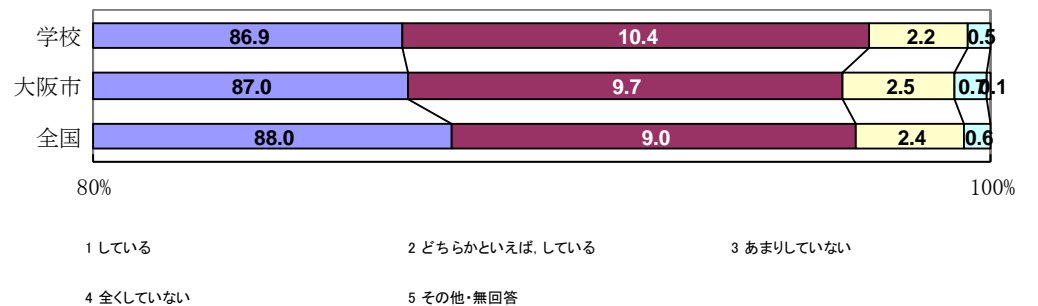
7

友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか



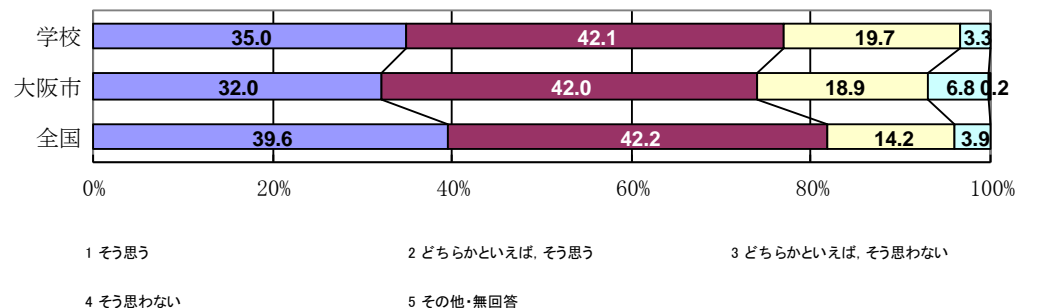
22

家で、学校の宿題をしていますか



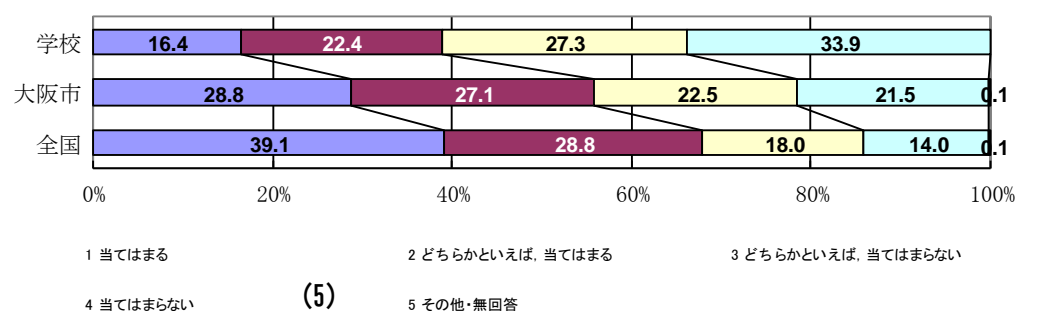
29

あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っ
て学級のきまりなどを決めていると思いますか



34

今住んでいる地域の行事に参加していますか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

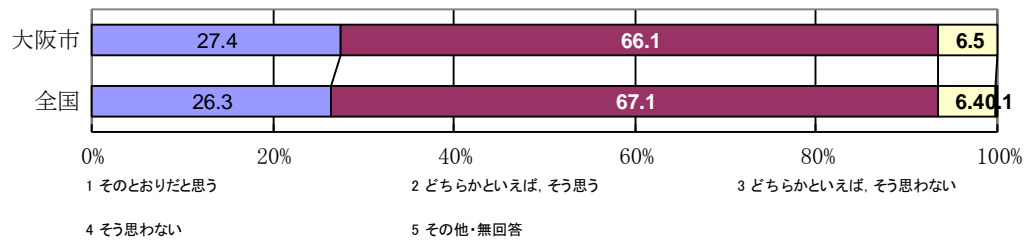
質問番号

質問事項

14

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

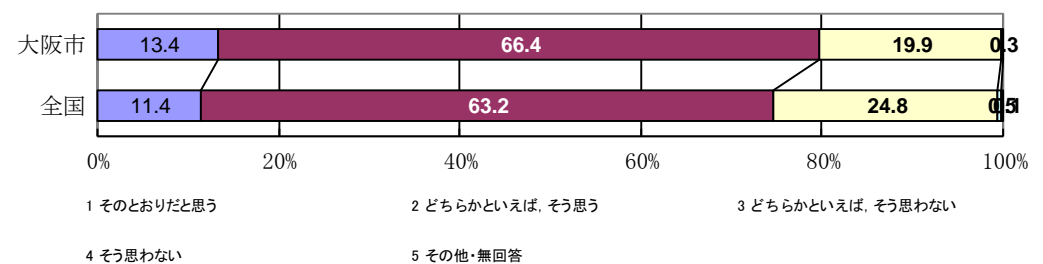
学校 「そのとおりだと思う」を選択



17

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

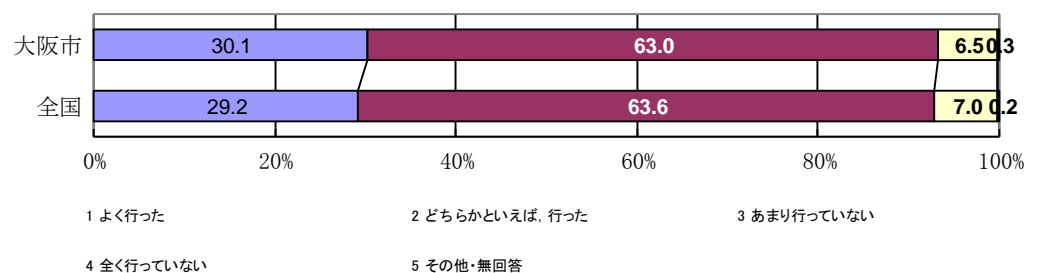
学校 「そのとおりだと思う」を選択



38

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか

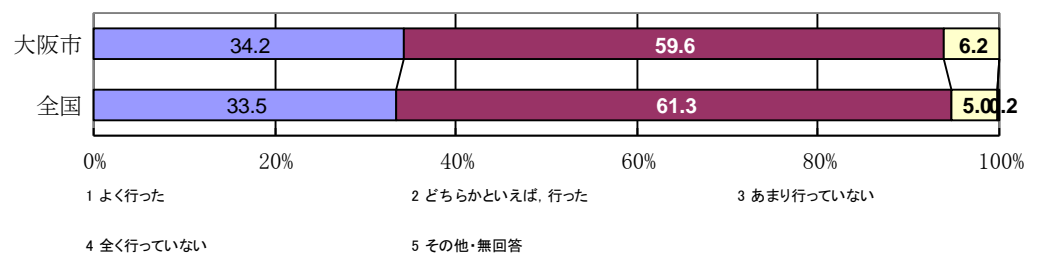
学校 「よく行った」を選択



39

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



44

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

